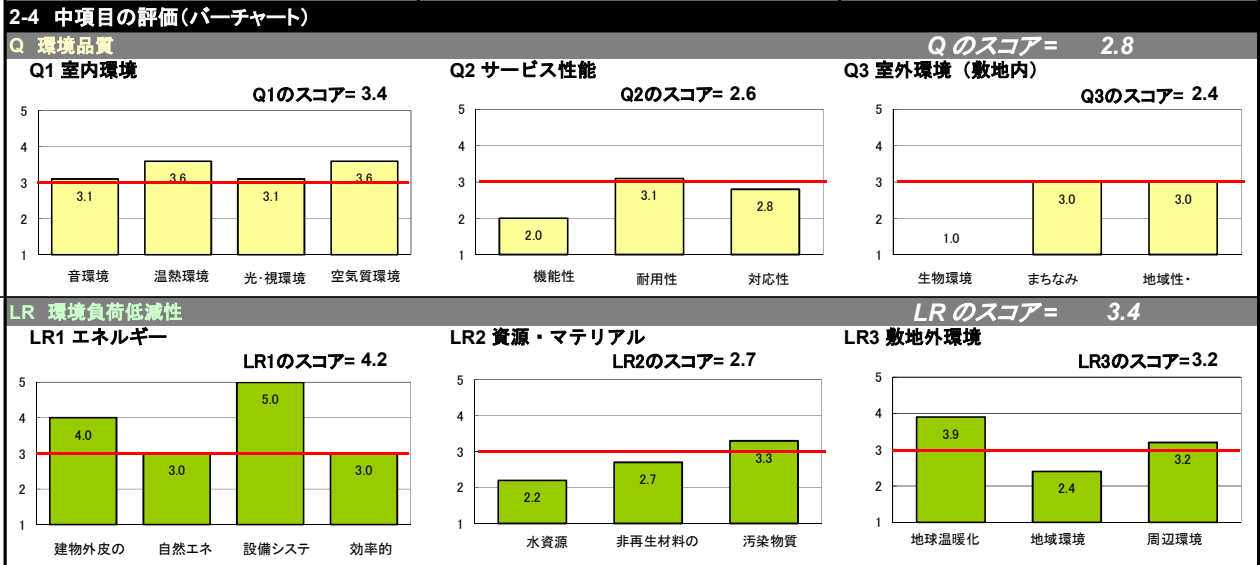
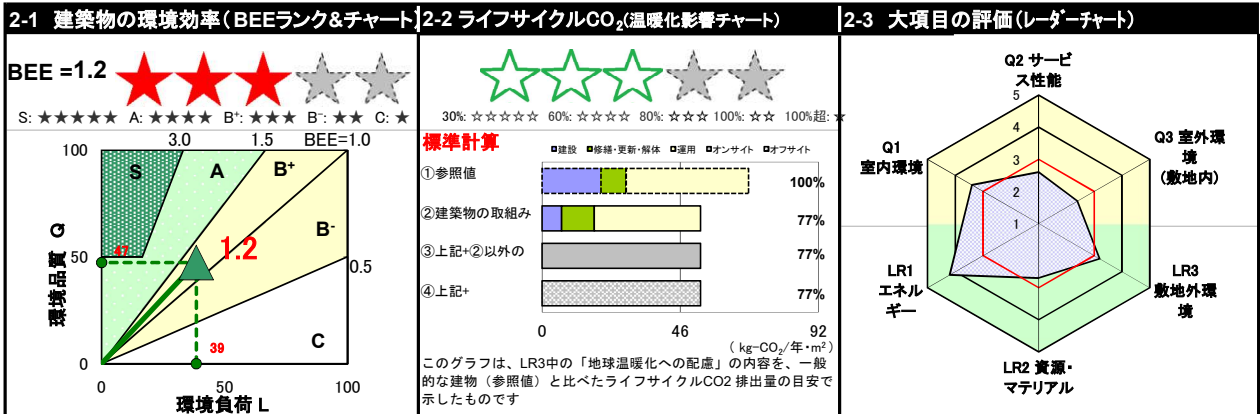


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 横須賀市若松町1丁目計画 新築工事	階数	地上15F
建設地	神奈川県横須賀市若松町一丁目16番1他3等	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	420人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2022年10月5日
敷地面積	1,432㎡	作成者	長谷工コーポレーション
建築面積	878㎡	確認日	2022年10月5日
延床面積	9,877㎡	確認者	長谷工コーポレーション



3 設計上の配慮事項		
総合 京急本線「横須賀中央駅」から徒歩4分の商業地域に共同住宅を計画した。		その他
Q1 室内環境 建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 界壁遮音性能において、界壁の壁厚を180mm以上とし、木下地二重壁によりDr-50を確保により、レベル4を取得。	Q2 サービス性能 住宅性能表示制度 劣化対策等級3を取得予定。 配管の更新必要間隔においてレベル4を取得。	Q3 室外環境 (敷地内) -
LR1 エネルギー -	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。 PRTR制度の対象物質を含有しない建材を採用。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たし、広告物照明は行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される